

2027年

全ての一般照明用蛍光ランプは

引退へ

あとは
まかせて

LED 照明

蛍光 ランプ

一般照明用蛍光ランプ
2027年
製造・輸出入禁止

引退
します

がんばれ~

白熱電球

LED照明の導入

検討はお済みですか？

水銀に関する水俣条約第5回締約国会議 COP5^{*1}

全ての一般照明用蛍光ランプについて
「製造」「輸出入」の廃止期限が
合意されました。

東芝ライテック
環境への取組み

2017年 蛍光灯器具と
HID器具の製造中止

2019年 水銀ランプ用
安定器の製造中止

2020年 水銀ランプ含めたHIDランプ
販売終了

省エネルギー性能の高い設備への更新促進をはじめ、低炭素建築物ストックの割合の向上を図ることで建築物で消費されるエネルギーに由来するCO₂を削減する施策が講じられています。

LED照明の動向

LEDの高い省エネ性によるCO₂排出量の削減により、低炭素化を目指し、LED照明の導入促進に向けて施策が講じられています。



2021年

「政府実行計画」の改定^{※2}

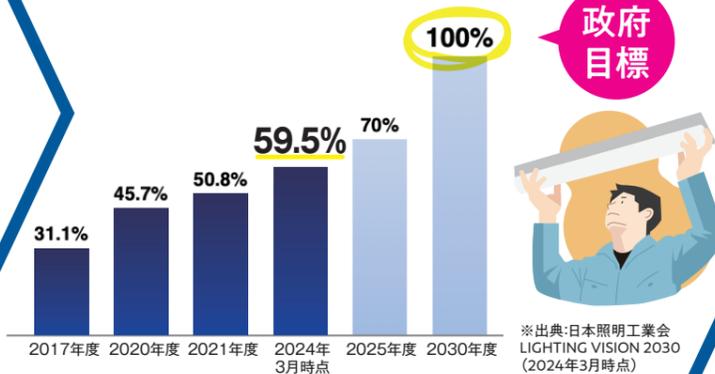
LED照明の導入の実行

- ・ 太陽光発電の導入
- ・ 新築建築物のZEB化
- ・ 電動車の導入
- ・ 再生可能エネルギー電力調達

2024年

LED照明の普及率は **まだ半分**

■照明器具ストック市場のSSL化率 (SSL器具占有率目標)[※]



2030年

あと6年

「地球温暖化対策計画」^{※3}

照明はLED等の高効率照明へ

高効率照明普及率 (ストック市場)

100%

既存光源ランプの動向

水銀による環境の汚染を防止のため、特定水銀使用製品について所要の措置や世界的な合意形成が進んでいます。



2021年

「水銀による環境の汚染の防止に関する法律」^{※4} 執行

一般照明用の
高圧水銀ランプの
製造・輸出入の禁止



2025年

来年

「水俣条約」COP4.2

電球形蛍光ランプの
製造・輸出入禁止



2026年

あと2年

「水俣条約 COP5」合意^{※5}

一般色蛍光ランプ・
コンパクト蛍光ランプの
製造・輸出入禁止



2027年

あと3年

「水俣条約」COP5

3波長蛍光ランプ
製造・輸出入の禁止



「地球温暖化対策計画」

温室効果ガスの排出をゼロへ

2030年

温室効果ガスの排出を
46%削減 (2013年度比)

2050年

カーボンニュートラルの
実現へ

建築物に係わる動向

建築物の省エネルギー対策の強化が進みます。



2021年

「地域脱炭素ロードマップ」^{※6}

公共施設などの業務ビル等
徹底した省エネの実施

「地球温暖化対策推進法」^{※7}

都道府県・政令市・中核市の
実行計画に、実施目標の追加

「地球温暖化対策計画」

都道府県および市町村が
地方公共団体実行計画
策定および見直しを行う

目標策定率
2025年度・・・ **95%**
2030年度・・・ **100%**

2022年から2025年

来年

「改正建築物省エネ法」^{※8}

全ての新築住宅・非住宅建築物に対する省エネ基準適合の義務付けの措置が2022年6月に公布、2025年度までに全面施行予定。

住宅・非住宅の建築物の省エネ基準への適合義務の対象範囲の拡大

原則全ての建築物の新築・増改築時における省エネ基準への適合が義務化

水俣条約による一般照明用蛍光灯の製造・輸出入廃止期限の2027年まであと3年、政府目標のLED照明の普及率100%の2030年まであと6年です。その時期が近づくにつれ、LED照明への更新工事が混みあうことも予想されます。

LED照明への更新のご検討はお早めに

LED照明へのリニューアルは「照明器具ごと交換」がオススメ

設置してから10年を過ぎた照明器具は
外観に異常がなくても内部の経年劣化は進んでいます。

毎日、使用している照明器具も外観が変わらないようにみえても歳を取ります。
10年を過ぎた照明器具は、「安全性のリスク」や低い省エネ性能による「環境・維持コストの増加」のデメリットも高まります。

老朽化した照明設備をお使いの場合は安全性と環境・維持コストの両面から
「早めの点検」と「LED照明への“照明器具ごとのリニューアル交換”」をおすすめします。

気付いていないだけでも...
老朽化のサイン

故障の回数が増えてきた

ランプの寿命が短くなった

以前より暗く感じるようになった

ソケットの変色

掃除しても汚れがとれない

経年劣化と危険性

G13口金

クラックや内部の導電板の酸化

漏電による感電の可能性

器具内部配線

配線の被覆劣化や亀裂による絶縁性能低下の可能性

漏電による感電の可能性

年月が経つほど見えないところも経年劣化が進みます

キケン!

8~10年が点検・交換の目安

老朽化した照明設備のデメリット

高い電気代

環境負荷の増加

将来的なメンテナンス

低い省エネ性

照度低下による作業効率への影響

劣化による「ランプ落下」や「器具内の安定器の発煙事故」などの発生の恐れ



【出典】

- ※1 環境省:水銀に関する水俣条約第5回締約国会議 COP5についてhttps://www.env.go.jp/council/content/i_02/000173196.pdf
- ※2 首相官邸 地球温暖化対策推進本部:「政府がその事務及び事業に関し温室効果ガスの排出の削減等のため実行すべき措置について定める計画の実施要領」令和3年10月22日地球温暖化対策推進本部幹事会申合せ令和4年5月27日一部改定 <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/ondanka/kaisai/dai48/pdf/mousiawase.pdf>
- ※3 首相官邸 地球温暖化対策推進本部:『地球温暖化対策計画』 https://www.kantei.go.jp/jp/singi/ondanka/kaisai/dai48/pdf/keikaku_honbun.pdf
- ※4 経済産業省:「水銀による環境の汚染の防止に関する法律について」 https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/mercury/index.html
- ※5 経済産業省:「水銀に関する水俣条約」 https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/mercury/minamata.html
- ※6 内閣官房 国・地方脱炭素実現会議:「地域脱炭素ロードマップ」令和3年6月9日 https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/datsutanso/pdf/20210609_chiiki_roadmap.pdf
- ※7 環境省:「地球温暖化対策推進法」 <https://www.env.go.jp/earth/ondanka/domestic.html>
- ※8 国土交通省:「令和4年度改正建築物省エネ法の概要」 https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/shouenehou_r4.html

東芝ライテック株式会社

照明・配線器具事業部

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

<https://www.tlt.co.jp/>

- 外観・仕様は、改良のため変更することがありますのでご了承ください。
- 商品の色は印刷の具合で実物とは若干異なる場合があります。
- 本誌から無断で複製、転載、流用をご遠慮いただけますようお願いいたします。

日本国内専用
Use only in Japan

このチラシの内容は2024年5月現在のものです。

C4551 0524 t TLT